

第2回 環境放射能除染研究発表会

口頭発表プログラム

6月5日(水) 大ホール(9:45-12:00, 14:00-17:30)

9:45		開会セレモニー	
		開会挨拶	不破 敬一郎(環境放射能除染学会会長)
		来賓挨拶	小林 正明(環境省 水・大気環境局長)
		来賓挨拶	鈴木 基之(東京大学名誉教授)
セッション1. 発生源と発生源対策 (10:00-10:20)			
10:00	S1-A	招待	東京電力の汚染水の発生源対策の地下水対策について 山下和彦(東京電力(株))
セッション2. 除染計画と除染技術(1) (10:20-12:00)			
10:20	S2-A	招待	放射性汚染物質の除去の現状と課題 牧谷邦昭(環境省水・大気環境局)
10:40	S2-B	招待	福島県の避難指示地域における除染の進捗状況と復興に向けた課題について 大村卓(環境省福島環境再生事務所)
11:00	S2-C	招待	空間解析による環境観測データと除染の関連性の検討 鈴木規之・今泉圭隆((独)国立環境研究所)
11:20	S2-D	招待	放射能汚染の総合解析と環境回復に向けた除染の適正化 森口祐一(東京大学大学院工学研究科)
11:40	S2-E	招待	除染技術の高度化にむけて 石田順一郎((独)日本原子力研究開発機構)
セッション3. 除染計画と除染技術(2) (14:00-15:30)			
14:00	S3-1	一般	ガンマカメラを用いた除染計画作成支援手法の開発と実証 君島淳(日立コンシューマエレクトロニクス(株))・森久起(環境回復情報ネット)・新宮康之(清水建設(株))
14:15	S3-2	一般	磁性Na-P1型ゼオライトによる土壌からの放射性Cs除去技術の開発 ○青野宏通(愛媛大学大学院理工学研究科)・山本徹・松枝直人・逸見彰男(愛媛大学農学)
14:30	S3-3	一般	磁気分離法による除染のための土壌からのセシウムイオンの脱離特性に関する研究 ○関谷一輝・桑原裕紀・吉田有輝・五十嵐亨・野村直希・三島史人・秋山庸子・西嶋茂宏(大阪大学工学研究科)
14:45	S3-4	一般	磁性化分離法を用いた放射性セシウムイオンの除去技術の開発 ○大西徳幸・畑英之・謝小毛・菊池守・百瀬恵一・大谷俊幸・青木茂幸(JNC石油化学(株))・大竹達也(JNCエンジニアリング(株))・牛島義光・国清義紀(JNC(株))
15:00	S3-5	一般	放射能土壌除染・水系除染を可能にする磁選機の開発 ○櫻木健司((株)マグネテックジャパン)・佐藤雅人((株)JMC)・池田宏一・森博・荻田富美幸((株)マグネテックジャパン)・青野宏通・逸見彰男・山本徹(愛媛大学)
15:15	S3-6	一般	磁気力制御を用いた土壌の除染に関する研究 ○野村直希・三島史人・秋山庸子・西嶋茂宏(大阪大学大学院工学研究科)
セッション4. 除染計画と除染技術(3) (15:30-17:30)			
15:30	S4-1	一般	郡山市における戸建住宅の蒸気除染事例 ―汚水飛散ゼロ・低圧ナノマイクロ蒸気洗浄工法 吉田繁((株)シミズ・ビルライフケア)
15:45	S4-2	一般	シュウ酸等を用いた汚染土壌除染法の除去率向上の検討 ○阿部紘子・中村秀樹・松宮浩志・田嶋直樹・金子昌章((株)東芝)
16:00	S4-3	一般	超音波を用いた土壌からの放射性セシウムの除染 ○木下哲一・谷本祐一(清水建設(株)技術研究所)
16:15	S4-4	一般	ナノカルシウムによる模擬セシウム汚染土壌の乾式分級試験 ○白石祐彰((株)奥村組)・三苦好治(県立広島大学)
16:30	S4-5	一般	土壌からの放射性セシウム除去技術の開発(第2報) ―土壌細粒分から溶離した放射性セシウムの回収― ○二見賢一・坂下大地(水ing(株))・下村達夫・関根智一・三甘崇博(荏原工業洗浄(株))・佐久間博司(水ing(株))
16:45	S4-6	一般	除染された土壌からの放射性Csの分離濃縮と簡易評価システムの開発 ○神谷昌岳・近藤充記・比氣朋典((株)マキノ)・山口克彦・河津賢澄(福島大学未来センター)・中平敦(大阪府立大学大学院工学研究科)
17:00	S4-7	一般	湿式触媒酸化法の改良法によるセシウム含有泥状物質減量と分離 ○原田茂樹・北辻政文(宮城大学食産業学部)・庄子政巳・伊東憲((株)セイスイ)
17:15	S4-8	一般	土壌の熱処理に伴うCs溶出量の変化 ○池上麻衣子・福谷哲(京都大学原子炉実験所)・米田稔・島田洋子・松井康人(京都大学工学研究科)

終了17:30

6月5日(水) 小ホール(10:00-12:05, 14:00-17:45)

セッション5. 計測技術と環境モニタリング(1)(10:00-12:05)

10:00	S5-A	招待	国における環境放射線モニタリングについて	室石泰弘(原子力規制庁監視情報課)
10:20	S5-B	招待	放射線計測機器開発の現状 -平成24年度JST先端計測分析技術・機器開発プログラム「放射線計測領域」採択課題より-	河津賢澄(福島大学)
10:40	S5-C	招待	ICP-QMSによる放射性ストロンチウム(90Sr)のためのカスケード分離型システムと福島第一原子力発電所事故に関わる90Sr飛散調査への応用	高貝慶隆(福島大学)
11:00	S5-D	招待	福島周辺の放射性物質等の分布状況と経時変化	斎藤公明((独)日本原子力研究開発機構)
11:20	S5-1	一般	筑波で観測された福島第一原発事故由来の大気中放射性核種の特長	○土井妙子((独)国立環境研究所)・榎本和義・豊田晃弘(高エネルギー加速器研究機構)・田中敦・柴田康行((独)国立環境研究所)・廣瀬勝己(埼玉大学地圏センター)
11:35	S5-2	一般	特性X線測定による放射性セシウムの表面放射能密度(Bq/cm ²)測定法と現地テスト結果	○高橋正二(高橋科学)・日下部治・片山均(エヌ・エム・ビイビジネスサポート(株))
11:50	S5-3	一般	南相馬市における放射線量率変動監視システムの開発	○廣瀬勝己・渡邊邦夫・Wael Elham Mahmud・菅野雅大(埼玉大学地圏科学研究センター)・関場英夫・田中章広(相双NPOセンター)・新城榮一((株)ニセンエックス)

セッション6. 計測技術と環境モニタリング(2)(14:00-15:30)

14:00	S6-1	一般	ゲル化法による高濃度懸濁物質を含む濁水中の放射性セシウムの定量	○北島枝織・土屋貴史・島山 雅人((株)環境科学コーポレーション)・保高徹生((独)産業技術総合研究所)・一柳淳一((株)環境科学コーポレーション)
14:15	S6-2	一般	ラジコンヘリコプターを用いた放射線測定	(株)アトックス・(株)パスコ・アレバ・キャンベラジャパン(株)
14:30	S6-3	一般	ホットスポットの検出と範囲推定方法の検討	○内田英夫・成岡秀訓・吉田大輔・泉健司(エヌエス環境(株)東京支社)
14:45	S6-4	一般	除染作業所など放射線バックグラウンドの高い場所での退出者や持ち出し物品の効率の良い汚染スクリーニング検査法	○鈴木一行・井原智・松本純(テクノヒル(株))
15:00	S6-5	一般	除染等の措置に必要な事前調査における空間情報技術の活用例	○金宗煥・荒瀧和律・三谷琢司・伊藤史彦(アジア航測(株))・山本卓也・菅原弘実(大成建設(株))
15:15	S6-6	一般	曳航式水中放射線量測定システムの開発	○大久保豊・笠原勉・鈴木幹夫・伊藤光明(いであ(株))

セッション7. 放射性セシウム及びその他核種の環境化学(15:30-17:45)

15:30	S7-A	招待	放射性セシウムのヒトばく露源解析と被ばく線量推定モデル	田中敦・高木麻衣((独)国立環境研究所)・吉永淳(東京大学新領域創成科学研究所)・竹内文乃・中山祥嗣((独)国立環境研究所)
15:50	S7-B	招待	福島長期環境動態研究(F-TRACE)の現状	佐藤治夫((独)日本原子力研究開発機構福島技術本部)
16:10	S7-C	招待	福島第一原発事故による大気環境影響:気象研究所での研究成果	五十嵐康人・足立光司・財前祐二・梶野瑞生・田中泰宙・真木貴史・関山剛・三上正男(気象研究所環境・応用気象研究部)
16:30	S7-1	一般	放射性セシウムの土壌吸着状態の第一原理計算による解析	○奥村雅彦・中村博樹・町田昌彦((独)日本原子力研究開発機構)
16:45	S7-2	一般	土壌粘土鉱物中セシウムの化学結合形態:計算科学によるアプローチ	○町田昌彦・奥村雅彦・中村博樹((独)日本原子力研究開発機構システム計算科学センター)
17:00	S7-3	一般	福島飯館村のリターに付着した放射性土壌粒子の鉱物特定	○小暮敏博・藤井英子(東京大学大学院理学系研究科)・北澤英明(物質・材料研究機構)・八田珠朗(国際農林水産業研究センター)・山田裕久(物質・材料研究機構)
17:15	S7-4	一般	分子軌道計算による放射性セシウム化合物の選定と、地殻物質への吸着	○柳原隆司・長林久夫(日本大学工学部)
17:30	S7-5	一般	放射性元素の寿命崩壊論に潜むニュートリノゼロ点生滅と技術事例	高尾征治(哲学科学・技術研究/TAKAO)

終了17:45

6月6日(木) 大ホール(9:15-12:00, 14:00-17:45)

セッション8. 森林・農用地の問題(1)(9:15-12:00)

9:15	S8-A	招待	東日本大震災被災地支援・復興に関する東京大学農学生命科学研究科全体の取組について	中西友子(東京大学大学院農学生命科学研究科)
9:35	S8-B	招待	放射性セシウムのイネへの移行ー伊達市小国地区における試験栽培ー	根本圭介(東京大学大学院農学生命科学研究科)
9:55	S8-C	招待	農地除染と放射性セシウムの作物への移行低減技術に関する取組状況と課題	木村武((独)農業・食品産業技術総合研究機構)
10:15	S8-D	招待	農地における放射性セシウムの生物学的除染技術開発の取組み	小林浩幸((独)農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター)
10:35	S8-E	招待	森林における放射性物質の分布と動態	赤間亮夫, 池田重人, 金子真司, 高橋正通((独)森林総合研究所)
10:55	S8-F	招待	福島県双葉郡の避難指示区域等における雑草等による農地荒廃について	佐藤宏光(福島県相双農林事務所)
11:15	S8-1	一般	ゼオライトブロック等による農業用水中の放射性物質の低減	○岩田将英・清水英樹・安井利彰(前田建設工業(株))・辻田耕一(フジミエ研(株))
11:30	S8-2	一般	孟宗竹内における放射性セシウムの分布とその除去方法	○上田祐子・渡邊功・本田克久(愛媛大学農学部)
11:45	S8-3	一般	水稲水耕栽培における培養液中のK、Na、Csの濃度推移	○長谷川榮一・相川良雄・西村修(東北大学大学院工学研究科)

セッション9. 復旧・復興プログラム(14:00-14:55)

14:00	S9-A	招待	福島の再生可能エネルギーを福島県民のために	佐藤理夫(福島大学共生システム理工学類)
14:20	S9-B	招待	「除染」について考える	鈴木和隆(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)
14:40	S9-1	一般	福島県内の市町村の除染に関する課題認識	川崎興太(福島大学共生システム理工学類)

セッション10. 除染計画と除染技術(4)(14:55-15:40)

14:55	S10-1	一般	実コンクリートへの事故由来の放射性Csの浸透状況	○山田一夫・竹内幸生・高田光康・大迫政浩((独)国立環境研究所)・緑川猛彦(福島工業高等専門学校)
15:10	S10-2	一般	道路の除染を安全に効率的に行うことができる「道路高圧除染車」の開発	○菊池茂・押野嘉雄・山科隆司・高村尚(鹿島建設(株))・山口達也(鹿島道路(株))
15:25	S10-3	一般	ドライアイスプラストを用いた舗装道路の除染技術の開発	○長峰春夫・若山真則・島田曜輔・吉澤崇幸・小野誠(大成建設(株))・中村弘((株)東洋ユニオン)

セッション11. 放射性廃棄物の分離・保管とその技術、水処理技術(1)(15:40)

15:40	S11-A	招待	廃棄物処理における放射性セシウムの制御手法	○大迫政浩・倉持秀俊・遠藤和人・蝦江美孝・川本克也・水原詞((株)国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター)
16:00	S11-1	一般	環境水・廃液からの放射性セシウム除去技術の開発	○関根智一・下村達夫(荏原工業洗浄(株))
16:15	S11-2	一般	フロテーション法による放射性廃液処理	○古屋伸秀樹・大木久光・佐原猛(NPO法人除染技術研究開発)・竹内謙(東京理科大学)・笠井利浩(福井工業大学)・古屋伸秀樹((独)産業技術総合研究所)・社本真一((独)日本原子力研究開発機構)
16:30	S11-3	一般	汚染飛灰からの放射性セシウム除染技術の開発	○高倉恵太・小林嗣幸・千葉怜・高津光志・松山佳苗・大村恒雄((株)東芝)

セッション12. 放射性廃棄物の分離・保管とその技術、水処理技術(2)(16:45)

16:45	S12-1	一般	分子認識吸着剤を用いた放射性物質に汚染された焼却飛灰の処理システム	○藤川宗治・岩本敬弘・河野孝志((株)タクマ)
17:00	S12-2	一般	溶融技術におけるセシウム揮散促進剤としての廃塩ビの適用	○釜田陽介・西村和基・佐藤淳・上林史朗・阿部清一((株)クボタ)
17:15	S12-3	一般	通気・遮水性に富むキャピラリーバリアシステムを用いた廃棄物・汚染土の中間貯蔵	○森井俊広(新潟大学農学部)・小林薫・松元和伸(飛鳥建設(株))・中房悟(日本原電(株))
17:30	S12-4	一般	焼却過程の放射性セシウムの挙動を再現するための平衡計算の改良と評価	○倉持秀敏・由井和子・大迫政浩((独)国立環境研究所)
17:45	S12-5	一般	焼却プロセスにおけるセシウムの挙動と飛灰処理技術の開発	○多田光宏・富田洋平・宮越靖宏・澁谷榮一(JFEエンジニアリング(株))

終了18:00

6月6日(木) 小ホール(9:15-11:55, 14:00-17:25)

セッション13. 流域動態と流域管理, 海洋汚染 (9:15-10:55)

9:15	S13-A	招待	湖沼底質から見た放射性セシウム汚染	福島武彦・荒居博之(筑波大学生命環境科学研究科)
9:35	S13-B	招待	化学物質の地下水流動と汚染対策	平田健正(和歌山大学)
9:55	S13-C	招待	放射性物質の陸域動態予測モデルの構築	今泉圭隆・鈴木規之・森野悠・大原利真((独)国立環境研究所)
10:15	S13-D	招待	海水魚におけるセシウムの取込みと排出	金子豊二(東京大学大学院農学生命科学研究科)
10:35	S13-E	招待	海洋生物の放射能汚染	石丸隆(東京海洋大学観測支援センター)
10:55	S13-1	一般	ダム流域を対象とした放射性セシウムの挙動解析 —分配係数の影響について—	○大野浩一(国立保健医療科学院)浅見真理(国立保健医療科学院)小坂浩司(国立保健医療科学院)秋葉道宏(国立保健医療科学院)樺田尚樹(国立保健医療科学院)森康二(株式会社 地圏環境テクノロジー)西岡哲(株式会社 地圏環境テクノロジー)

セッション14. 除染計画と除染技術(5): 除染事例 (11:10-11:55)

11:10	S14-1	一般	放射能汚染土壌の地域差～粒子径と放射能比～	○倉石政彦(群馬県立県民健康科学大学)・深井和彦・工藤要一郎((株)開成エンジニアリング)・堀口哲雄・笠原誠(岩井土建(株))・佐藤喜一(下仁田町健康課)・杉野雅人(群馬県立県民健康科学大学)
11:25	S14-2	一般	下仁田町における放射能除染活動	○深井和彦・工藤要一郎((株)開成エンジニアリング)・倉石政彦(群馬県立県民健康科学大学)・佐藤喜一(下仁田町健康課)
11:40	S14-3	一般	福島県相馬市における除染事例	高橋正則(庄建技術(株))

セッション15. 計測技術と環境モニタリング(3) (14:00-15:15)

14:00	S15-1	一般	浸透による地面セシウム汚染分布の評価方法	○森一幸((株)イング)・沓澤勇飛((株)大林組)
14:15	S15-2	一般	携帯型NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータを用いたオンサイト核種分析法の応用	○成岡秀訓・内田英夫・青木昌宏・吉田大輔(エヌエス環境(株))
14:30	S15-3	一般	生体放射能画像解析による汚染状況、除染効果の効率的評価と今後の汚染動態予測	○中島裕夫・藤堂剛(大阪大学大学院医学系研究科)
14:45	S15-4	一般	環境水中の低濃度放射性Cs濃度測定技術の開発	○川本徹・南公隆・田中寿・北島明子・保高徹生((独)産業技術総合研究所)・上村竜一・船橋孝之・木塚智洋・金井羅門(東電環境エンジニアリング(株))・川崎達也・川津善章・小林剛(日本パイリーン(株))
15:00	S15-5	一般	γ線サーベイメータ用コリメータの形状の検討	田中良彦(東京電力(株)除染推進室)

セッション16. リスクアセスメントと費用効果 (15:15-16:05)

15:15	S16-A	招待	汚染土壌のリスクと今後の変遷について	米田稔(京都大)
15:35	S16-1	一般	事故以前の被ばく線量分布に基づくリスク管理目標に関する考察	○鈴木規之・滝上英隆・松橋啓介・青木康展((独)国立環境研究所)
15:50	S16-2	一般	GISを用いた除染特別地域内の除染に伴う費用と効果の推定	○保高徹生・内藤航((独)産業技術総合研究所)

セッション17. 放射能防護・食品放射能 (16:05-17:25)

16:05	S17-A	招待	食品中の放射性セシウム濃度と調理による影響	松田りえ子(国立医薬品食品衛生研究所)
16:25	S17-B	招待	食品中の放射性物質の基準値の設定について	山本茂貴(東海大学海洋学部)
16:45	S17-C	招待	事故由来廃棄物などの処分業務に従事する労働者の放射線障害防止のための省令の公布とガイドライン策定 ～電離放射線障害防止規則を一部改正し7月1日から施行～	安井省侍郎(厚労省)
17:05	S17-D	招待	放射能の体内除染・防護修復能の向上	香川靖雄(女子栄養大学医化学研究室)

終了17:25